２　地理歴史・公民

学校番号	T2101

平成３１年度　社会科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２	年次	４
使用教科書	現代の倫理　（山川出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちがふだん、当然のように考えていることのなかには人類の長い歴史の中で積み重ねられてきた経験やそこから生まれた思想からくるものが多く含まれています。「倫理」では日常生活で出会う様々な「考え方」「思想」についての歴史的背景や地域的な相違について学んでいきます。一度聞いただけではなかなか理解しにくくところがあるかもしれませんが、できるかぎりわかりやすく説明しますので教科書を繰り返し読んでぜひ身につけてください。

２　学習の到達目標

・社会的な見方・考え方を身につけ広い視野に立って一体化する国際社会に生きる平和で民主的な国家の公民としての資質・能力を養う。
・倫理にかかわる諸課題に対して、様々な情報を効果的に調べ、まとめる能力を身につける。
・現代社会の倫理的問題について事実をもとに多面的・多角的に考察したり、判断に必要な概念や理論を理解し、社会の合意形成に向けての構想をまとめ記述することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	倫理的な考え方に関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加・協力する態度を身につけている。	現代社会の課題を多様な思想・考え方から、広い視野にたって考察し、公正に判断しその過程や結果を適切に表現できる。	倫理的な考え方・思想を様々な資料から分類し現代社会の課題の解決に向けて有用な情報を効果的に活用する。	現代社会の課題解決に必要な基本的な倫理に関する知識・思想を理解し身につけている。
評価方法	プリントの記入、提出 授業態度	プリントの記入、提出 授業態度	プリントの記入提出 授業態度	定期考査 プリントの記入提出 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期中間考査まで	青年期と自己の課題	・自己の発見 ・将来のキャリアを設計しよう ・他者とともに生きる ・個人と集団 ・生命と自然との出会い	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ 	a: 倫理的な考え方に関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加・協力する態度を身につけている。 b: 現代社会の課題を多様な思想・考え方から、広い視野にたって考察し、公正に判断しその過程や結果を適切に表現できる。 c: 倫理的な考え方・思想を様々な資料から分類し現代社会の課題の解決に向けて有用な情報を効果的に活用する。 d: 現代社会の課題解決に必要な基本的な倫理に関する知識・思想を理解し身につけている。	定期考査 プリント記入 提出物 授業態度
後期期末考査まで	人間としてのあり方・行き方・現代社会と倫理	・人生と哲学 ・人生と宗教 ・人生と芸術 ・世界の中の日本人 ・現代社会を生きる倫理 ・現代の課題と倫理	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a: 倫理的な考え方に関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加・協力する態度を身につけている。 b: 現代社会の課題を多様な思想・考え方から、広い視野にたって考察し、公正に判断しその過程や結果を適切に表現できる。 c: 倫理的な考え方・思想を様々な資料から分類し現代社会の課題の解決に向けて有用な情報を効果的に活用する。 d: 現代社会の課題解決に必要な基本的な倫理に関する知識・思想を理解し身につけている。	定期考査 プリント記入 提出物 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。